2022-2023 年度 RI テーマ

第 2780 地区　ガバナー
佐藤　祐一郎

第 3 グループガバナー補佐
永松　秀行

イマジン
ロータリー

Rotary

2022-2023 年度
藤沢ロータリークラブ週報

■創　立　／　昭和 29 年 6 月 3 日　　■第 68 代　会長　／　廣島　純　　幹事　／　鈴木　大次
■事務所　／　藤沢市藤沢 93 新堀ライブ館 204　TEL：0466-25-4000　FAX：0466-26-9292　E-mail：info@fujisawa-rotary.com
■例会日　／　毎週水曜日 12:30～13:30　　■例会場／　湘南鎌倉クリスタルホテル TEL：0466-28-2111

NO.18　　第 3276 例会　　２０２２年　　１１月　　１６日　　天候　曇り

ロータリーソング「それでこそロータリー」
「四つのテスト」　　牧野　元拓　会員

≪ゲスト・ビジターの紹介≫

卓話ゲスト：根岸　君代　様
（地区ポリオプラス副委員長/平塚北 RC）
嵯峨野　貴央　様
（地区ポリオプラス委員/茅ケ崎中央 RC）
中村　辰雄　様
（地区ポリオプラス委員/相模原南 RC）

≪会長報告≫

・先週の夜間移動例会、ご参加ありがとうございました。久しぶりの夜間例会で、皆様と楽しく歓談することが出来ました。
・世界の人口が、80 億人に突破したというニュースがありました。こんなペースで人が増えると感染症の問題も深刻になるのではないでしょうか。
・本日ポリオについて卓話をいただくのですが、日本でポリオが流行したのは、1940 年代でした。1961 年から 3 歳児にポリオのワクチン接種が始まりました。私はポリオワクチンの第一世代となります。当時の映像を見ますと、スプーンで医師がワクチンを幼児の口に流し込んでいました。今とはずいぶん違います。
ロータリーアンの皆様はもちろんポリオについてご存知と思いますが、踏み込んだ話は知らない点もおありなのではないでしょうか。先進国でもワが必要だそうです。眼をそむけてはいられない問題です。本日は、一緒に勉強させていただきたく思います。

≪幹事報告≫

・本日、11 月 2 回目の酉の日で、白旗神社では酉の市をしております。お立ち寄りください。また 28 日は三の酉です。三の酉のある年は火事が多いといわれます。火の用心でお願い致します。
・11 月 2 日の理事役員会報告
1. 2025 年度ガバナーノミニー選出依頼がありましたが、今回は選出内となりました。
2. 次年度理事役員選考委員会の日程と選考委員
12 月 7 日（水）例会後に開催
選考委員　木島英夫 会員
大野木　加代子　会員
杉原　栄子　会員
勝又　茂成　会員
崎山　直夫　会員
岡崎　記久子　会員
にご就任することがが了承されました。
上記 6 名と理事役員で選考委員会を開催。

出席報告　（　　）内は計算に用いた会員数
＋〔　〕は Zoom 出席者

例会月日	会員数	出席会員数	欠席会員数	出席率	メークアップ会員数	修正出席者数	修正出席率
11月2日	42(39)名	25名	14名	64．10%	1名	26名	66．67%
11月16日	42(39)名	26名	13名	66．67%			

3. 創立 70 周年記念事業実行委員会より報告

・国内奉仕活動について

藤沢市内の小学生を対象とするミニバスケットボール大会の方向で、小河会長エレクトを中心に下調べ中

・海外奉仕活動について

椋梨先生が行っていただいておりますカンボジア歯科検診に付随した形での活動検討いただく

・基調講演

有森裕子さんに決定　椋梨先生に調整をしていただいております

・クラブビジョンの作成

私、鈴木が担当させていただきます。

・日程と会場

日程　2024 年 6 月 5 日（水）

会場　湘南鎌倉クリスタルホテル

実行委員として、下野会員に加わっていただく

4. 11 月 26 日（土）、地区新会員親睦会の登録費、クラブより 1 万円の補助を決定。

5. 12 月 10 日（土）、2780 地区の社会・国際奉仕委員会研修会、廣島会長と小澤会員が出席

6. 7－9 月の会計報告の承認

その他

・新年初例会の日程の確認です。

2023 年 1 月 12 日（木）午後 6 時から、車屋さんの予定です。

・IA 国内研修 12 月 25－27 日、湘南学園 IA クラブより、1 名参加

・「ロータリーの友」、冊子か WEB 版選択することの確認が来ております。当クラブでは、全員冊子とさせていただくことを理事役員会で決定。

例会後、創立 70 周年記念事業実行委員会を開催致します。実行委員の皆様、ご出席お願い致します。

≪委員会報告≫

・下野　親睦委員長

先週、夜間例会のご出席いただきました皆様、ありがとうございました。

来月 12 月 21 日（水）、クリスマス夜間例会・家族会を開催致します。久々に家族例会とさせていただきます。後日ご案内をお送りいたしますので、ご出席くださいますようお願い致します。

・椋梨　青少年保護役員

次年度の青少年交換プログラムの選考試験が開催されました。当クラブ候補の吉田芽衣さんが合格し、フランス派遣が決まりました。今後、オリエンテーションが始まります。クラブからカウンセラーを選出して、皆様でバックアップしていきたいと思います。ご協力よろしくお願い致します。

≪お祝い≫

会員誕生日　11 月 27 日　椋梨　兼彰　会員

結婚記念日　11 月 24 日　椋梨　兼彰　会員

椋梨会員ダブルでお祝いです

≪スマイル報告≫

根岸 君代 様　嵯峨野 貴央 様　中村 辰雄 様

（2780 地区ポリオプラス委員会）

本日はポリオ卓話にお呼び頂きありがとうございます。一生懸命頑張りますので、よろしくお願い致します。

廣島　純　会長

根岸様、嵯峨野様、中村様、本日の卓話よろしくお願い致します。

鈴木　大次　会員

ポリオプラス委員会　根岸様、嵯峨野様、中村様本日はありがとうございます。

≪小話　3 分間スピーチ≫

小澤　智幸　会員

建築業界の現状について詳しくお話いただきました。円安の為、建築資材、土木資材の急騰の為、全体資材の工事価格は 1 年前に比べると 23%の値上がりが続いていること。木材はロシアに依存しているので、ウクライナとロシアの戦争の影響が大きく、材料が輸入できない。コロナ禍で、中国で作られる半導体部品が入ってこないので、1 年前に受注した仕事を今、工事している状態。これがいつまで続くのかというのが業界全体の課題で、戦争が早く終わってくれることが、まず一番。

≪卓話≫

ポリオプラス委員会　卓話

「歴史をつくる　カウントダウン」

ポリオは根絶できる

みんなのちからがあれば

国際ロータリー2780 地区

ポリオプラス委員会

副委員長　根岸　君代　様（平塚北 RC）

委員　　嵯峨野　貴央　様

（茅ヶ崎中央 RC）

委員　　中村　辰雄　様

（相模原南 RC）

根岸　副委員長よりご挨拶

嵯峨野様より卓話をいただきました

先ずは　ポリオという病気について説明します。ポリオはウィルスによって発症する感染症です。ウィルスは口から入ります。飲食物や手などに付着して口の中に入ることが考えられます。口の中に入っ

たウィルスは喉に定着したり、あるいは飲み込まれて腸に定着し、増殖します。ウィルスはさらに付近のリンパへと侵入し、血液の流れに乗って中枢神経にたどり着き、麻痺を引き起こすことがあります。
左上の写真は麻痺により自身では呼吸が出来なくなった患者が入る「鉄の肺」と言われるタンクです。大きな鉄製のタンクに体ごと入り、タンク内の気圧を低くして肺をふくらませ、圧を戻すことで呼吸を手伝う装置です。
ポリオウィルスに感染しても、無症状や軽症の場合が 90〜95%程度を占めますが、何の症状が出なくても、便の中にはウィルスが排出され、他の人への感染源となりえます。
またポリオが流行したときには小児の麻痺がよくみられたことにより、「小児まひ」と呼ばれますが、大人にも感染しますので適切とは言えません。
たとえば第 32 代アメリカ大統領のフランクリン・ルーズベルトはポリオの後遺症で車椅子に乗っていましたが、ポリオに罹ったのは 39 歳の時でした。また 2006 年アフリカのナミビアでポリオの流行があった時も半数以上が大人でした。
残念な事に、ポリオに有効な治療法はありません。しかしポリオはワクチンの接種により予防が出来ます。ワクチンには不活性化ワクチンと生ワクチンがあります。

・生ワクチンには、病原性を弱めたウイルスが入っています。免疫をつける力が優れている一方で、まれにポリオにかかったときと同じ症状が出ることがあります。大変まれですが、生ワクチンの接種を受けた人の便をとおして、接触者がポリオに感染することもありますし、ワクチンウィルスが人から人へ感染を繰り返すうちに毒性をもち、ポリオの流行を引き起こすこともあります。
・不活化ワクチンは、不活化した（殺した）ウイルスからつくられています。
・日本では 2012（平成 24）年 9 月 1 日から生ワクチンの定期予防接種は中止され、不活化ワクチンの定期接種が導入されました。

ポリオは根絶可能な疾病です。
ここで注釈ですが、この卓話では根絶と撲滅の二つの言葉が出てきます。
「力を加えて完全に滅ぼす」という意味を表したい場合は「撲滅」、「二度と起こらないように絶やす」という意味でを表したい場合は「根絶」という使い分けになります。
今のポリオプラスプログラムにおいては撲滅よりは根絶の言葉の方がふさわしいと思いますが、スライドは様々なところから引用しておりますので、撲滅を使っていてもご容赦ください。
ポリオは根絶可能な疾病です。
なぜそう言い切れるのか５つの理由を述べます。

1. ポリオウィルスの感染期間は非持続的
   ポリオに感染しても、感染力のある期間は限られています。通常 1〜２週間程度です。
2. 感染経路は感染者とその排泄物のみ
   通常、ひとの排泄物だけが感染源となります。このように感染経路の特性を知る事でポリオ克服に近づけます。
3. ウィルスが自然界で生存し続けるには限界がある。
   野生型のポリオウィルスはヒトの体内以外では長く生存できません。
4. それとヒトが唯一の宿主です。これは何度も立証されましたが動物を介して生存・感染するウィルスは確認されていません。
5. そして最後にワクチンの予防接種によって感染を防ぐことができます。
   以上が根絶可能な理由です。

ここで余談ですが、映画「ブレスしあわせの呼吸」を紹介させてもらいます。
この映画の主人公ロビンは、28 歳でポリオに罹患。余命数カ月を宣告されながらも 36 年間、人工呼吸器と共に世界一幸せに生きた男と、その家族の奇跡の実話です。ロビンは気管を切開し、人工呼吸器をつけたまま、病院を出て社会の中で暮らすことを選びます。重度障害者の自立活動の先駆けです。家族や友人の愛と創意工夫がそれを可能にしました。
この映画の公開に向けて、国際ロータリーが協力し、公式ウェブサイト、ポスター、チラシ、映画本編のオープニングクレジットにロータリーと END POLIO NOW のロゴが入っています。私は先日 UNEXT で鑑賞しましたが、クレジットは確認できませんでした。この映画はポリオが身近でない若い人たち

が、ポリオ根絶活動の意義を考えるいい機会を与えてくれると思います。
続いて国際ロータリーのポリオプラスプログラムの歴史について説明します。
1979 年　国際ロータリーはフィリピンの６００万人の児童にポリオの予防接種をするという 5 ヶ年プロジェクトを立ち上げました。
そして 1985 年にポリオプラスプログラムが発足するわけですが、ここに日本人ロータリアンが深く関わっていました。
東京麹町ロータリークラブの会員であった山田つねさん、峰英二さんのお二人は早くからポリオの惨状に深い関心を寄せ、南インドでポリオに苦しむ子どもたちにワクチン供与を 2 度にわたり実施され、その状況をつぶさに報告していました。この報告がポリオ撲滅運動提唱の原動力となり、東京の 2 地区を通じ国際ロータリーのポリオプラスプログラムへと発展したのです。
そして 1994 年　ヨーロッパ、南北アメリカ大陸が撲滅を宣言
1988 年　ロータリーと WHO が世界ポリオ根絶推進計画（GPEI）を立ち上げる。
GPEI とはロータリー、WHO、ユニセフ、米国疾病対策センター（CDC）、ビル＆メリンダ・ゲイツ財団、そして各国政府を含む官民共同の取り組みです。
2000 年　オーストラリアから中国　西太平洋地域から撲滅宣言
2006 年　ポリオ常在国が 4 カ国に（アフガニスタン、インド、ナイジェリア、パキスタン）
2014 年　インドを含む東南アジア地域で撲滅宣言
2020 年　アフリカ大陸から撲滅を宣言　常在国はアフガニスタン、パキスタンの 2 カ国になりました。
そして最新のポリオの現状です。
1988 年には 125 カ国 35 万件以上の発症が確認されたが、以来、25 億人以上の子どもに予防接種を行い、発症数は 99.9%減少しました。
2022 年 9 月 28 日現在
この表は毎月のロータリーの友に掲載されております。

最新ポリオニュースとして
・アメリカ ニューヨーク州で 7 月ワクチン未接種者が感染し麻痺を呈した症例が報告され緊急事態宣言を発令し、ワクチン未接種者には予防接種を受けるよう　うながしました。
・イギリス ロンドンでも下水からポリオウィルスが検出され警戒を強めている。

ここで世界地図でポリオ根絶の推移をみてもらいます。0.1%がなぜ難しいか
さきほど 1988 年に比べて、発症数は 99.9%減少したと申し上げました。
残りは 0.1%いや 0.01%にも満たないです。
しかしこのほんの少しの戦いが最も困難だと言われています。その理由は遠隔地、不十分なインフラ、戦争やテロ地域である、そして文化的な障害が挙げられます。その間にも、他の地域が再発生のリスクにさらされます。
でも私たちはこの残り 0.1%の戦いをやめるわけにいきません。野生株ポリオウィルスの発症が起きている 3 カ国でまず感染を断ち切る。
既にポリオがいなくなったポリオフリーの国にウィルスが流入しないようにしなくてはならない
流入リスクの高い国は最大 60 カ国と言われ、現在も続けて全国一斉予防接種などのキャンペーンを続けています。
ポリオウィルスを完全に根絶しない限り、今後 10 年間で新たな発症は世界で２０万件に上がると推定されています。

これまでさんざんポリオプラスと言ってきましたが、そのプラスの意味を説明します。
当初のプラスの意味は、ポリオと共に子供のかかりやすい伝染病（はしか、結核、ジフテリア、百日咳、破傷風）の５つをプラスして同時追放を目指していました。しかしポリオ根絶運動の取り組みとともに　新たな恩恵が増えてきました。
一つはワクチンの運搬、保存をするための物流方式が発展途上地域でも確立してきました。これはまさにコロナウィルスのワクチン運搬、保存にも生かされています。そしてポリオ発症の発見を目的としていたネットワークが他のウィルスの感染状況の監視にも役立ちます。これもコロナウィルスへの対応に役立っています。
また世界ポリオ根絶推進計画（GPEI）は官民パートナーシップの手本となりました。このように例えポ

リオがなくなった後も、他の感染症との戦いを支えるインフラと協力態勢という遺産となるのです。
ここでポリオ根絶の運動がコロナ（COVID-19）との戦いにどのように生かされているかアニメーションですがご覧ください。

活動するロータリー
インド　デリーでのワクチン経口投与
多くのロータリアンが、資金面の支援だけでなく、自ら予防接種活動にボランティアとして参加しております。第2780地区は2014年相澤ガバナー年度よりインド　デリーでの全国予防接種日に参加しております。
インドは宗教、思想からトイレは不浄とされ、野外排泄をするヒトが今だに6億人いるといわれています。そのため、最下層の5歳以下の子供たちは裸足で生活し、ポリオに感染する危険が高いです。写真は実際にポリオプラス委員会メンバーが撮ってきてくれたものです。ワクチンを投与するメンバー、捨て牛が闊歩するスラム街、ワクチンを投与後にプレゼントを渡している姿です。
次は寄付の話です。
国際ロータリーではポリオ根絶の為に毎年5000万ドルの拠出を目標としています。一ドル149円で換算すると約75億円です。
ビル＆メリンダ・ゲイツ財団はロータリーの寄付に対して2倍額を上乗せすることを約束しています。
資金は「根絶活動の運営」「医療従事者の支援、確保」「研究所の設備」「啓発資料」などに使われています。

2780地区ではポリオプラス基金として一人40ドルを目標としております。これは私の試算ですが、今の全世界のロータリアンの総数は118万人ですので、5000万ドルを割るとちょうど40ドル相当になります。
ビル・ゲイツはこのように言っております。
「ロータリーから刺激を受け、私もポリオ撲滅に深く関わろうと決意しました。ロータリーがなければ、今日の世界はなかったでしょうし、今後世界が向かうべき方向も失われていたでしょう」
ポリオのない世界の実現へ向けて　根絶に賭ける5つの理由の述べます。
根絶を諦めれば今後数千万人の子供がポリオで身体麻痺になる。
根絶達成は目前に迫ってます。
根絶を達成すれば、今後20年間で500億ドルの経済効果　７兆５千億円
そして疾病監視のネットワークは他の感染症対策にとって世紀的な贈り物になります。
またポリオ根絶は公共保健の歴史的快挙となります。これは天然痘に続いて2例目です。

来週の月曜日10月24日は世界ポリオデーです。これはポリオワクチンを開発したアメリカの医学者ジョナス　ソークの誕生日を記念して国際ロータリーが設立しました。
世界各地でポリオに関するイベント等が開催され、支援を募ったり啓蒙活動が行われています。
2780地区は昨年、ポリオの認知度向上と根絶活動への支援を募るため、神奈川県内でバスジャックプロジェクトを展開。ラッピングバス12台と県内のバス・電車内で啓発活動をを実施しました。

最後に2022～23年度RIロータリー会長　ジェニファー・ジョーンズの最新のポリオに関するコメントです。
ポリオに光を当てる（中略）
最も大切なのは、今こそ、このウイルスを根絶する必要があると決意を新たにするということです。地球上のどこかにポリオウイルスが存在する限り、どこにでも拡大する可能性があります。パキスタンでは、ポリオ根絶が実現可能であり、実現しなければならないという思いは、より強くなりました。ただしそれは効果的な戦略に全力で取り組み、必要なあらゆるリソースを投入し続けて初めて実現するのです。
コミットメント、惜しみない支援、断固とした決意があれば、ポリオ根絶は実現できるのです。
ジェニファー・ジョーンズ
2022-23年度　国際ロータリー（RI）会長

本年2022～23年度　佐藤祐一郎ガバナーはクラブ主体でのポリオ啓蒙活動をお願いしております。私たちポリオプラス委員会にお手伝いできることありましたら、お気軽にお申し付けてください。

国際ロータリーの悲願でありますポリオ根絶が一日でも早く達成されますことを心より祈っております。

詳しい資料もいただきました

中村様に資料について補足いただきました

廣島会長より謝辞

記念撮影　多くの会員様に入っていただきました

今日のお料理